

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	13-11																																			
PDCA	主要事業名	企業立地・創業支援事業	部課名	市民経済部 産業課	担当	加藤																																				
					内線	323																																				
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 2 単位施策： 企業立地 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 93,324 千円 会計 一般会計 歳出科目：06.01.02.0650 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 143,300 千円																																									
	事業概要等	事業概要： 本市に新規進出する企業に向けた高度先端産業立地奨励金や本市からの流出防止及び設備投資を促進する半田市企業再投資促進補助金等の優遇制度により、企業の事業拡大を支援する。また、創業支援は、起業・会社設立支援補助金を実施し、法人設立等の起業及び雇用創出を支援する。																																								
		事業目的： 優遇制度を広くPRすることで、本市への新規進出や事業拡大等を図り、企業立地を推進する。また、雇用創出や地域の活性化のため、新規起業者も支援する。																																								
		事業内容： 事業者を支援するため、企業再投資促進補助金、起業・会社設立支援補助金等を交付する。																																								
		問題点・課題等： 企業側が求める支援策の聞き取りを行うなど、企業ニーズを把握するとともに、企業進出や事業拡大が円滑に進む様、環境を整備する必要がある。																																								
	予算額	主要事業とする理由																																								
	93,324 千円	企業誘致活動により事業者を支援することで、税収の増加及び新たな雇用創出、それに伴う定住人口の増加を図るため。																																								
	財源内訳	得られる成果																																								
	市費	新たな企業進出や補助金等の優遇制度を活用した設備投資による事業拡大により、安定的な税収確保や雇用創出に繋がる。																																								
	47,389 千円	目標値や目指すべき状態																																								
	国費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業立地件数</td> <td>実績値 1</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>起業・会社設立支援補助金の交付件数</td> <td>実績値 1</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>先端設備等導入計画の認定件数</td> <td>実績値 25</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>							令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	企業立地件数	実績値 1	0	—	件		目標値 1	1	1	件	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値 1	0	—	件		目標値 6	4	4	件	先端設備等導入計画の認定件数	実績値 25	12	—	件		目標値 30	30	30	件
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																					
	企業立地件数	実績値 1	0	—	件																																					
		目標値 1	1	1	件																																					
	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値 1	0	—	件																																					
	目標値 6	4	4	件																																						
先端設備等導入計画の認定件数	実績値 25	12	—	件																																						
	目標値 30	30	30	件																																						
0 千円																																										
県費																																										
45,935 千円																																										
その他																																										
0 千円																																										
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																								
	82,844 千円	補助金や優遇制度により、1件の企業立地、4件の会社設立を支援したほか、7件の先端設備等導入計画を認定し中小企業を支援することができた。																																								
		成果指標																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業立地件数</td> <td>実績値 1.0</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 1.0</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>起業・会社設立支援補助金の交付件数</td> <td>実績値 4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>先端設備等導入計画の認定件数</td> <td>実績値 7</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 30</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>							令和3年度	単位	企業立地件数	実績値 1.0	件		目標値 1.0	件	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値 4	件		目標値 4	件	先端設備等導入計画の認定件数	実績値 7	件		目標値 30	件														
		令和3年度	単位																																							
	企業立地件数	実績値 1.0	件																																							
		目標値 1.0	件																																							
	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値 4	件																																							
		目標値 4	件																																							
	先端設備等導入計画の認定件数	実績値 7	件																																							
	目標値 30	件																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 令和3年度は、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響が国内外で収束せず、部品供給不足等で工場が操業停止する等、全国的に企業活動は停滞している。市内においても同様の傾向が見られ、先端設備等導入計画の認定件数は7件と減少したが、企業再投資促進補助金を活用し1件の企業立地を支援することができた。一方で、起業・会社設立支援補助金については、令和2年度は未交付であったが、令和3年度は目標値の4件を交付し創業を支援した。また、事業活動の環境改善を検討するため、臨海部工業団地の慢性的な渋滞対策に関する勉強会を立ち上げた。なお、市内事業者を支援するため相談を積極的に行っているが、事業拡大は経済情勢等に大きく左右されることが課題である。																																								
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	拡充推進 今後も引き続き事業者支援を推進し、雇用創出、安定的な税収の増大を図るとともに、コロナ禍においても市内で企業活動が行いやすい環境を整備していく。																																								
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																				
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト	ない																																			
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	削減余地																																				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																			

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用